

平成27年度 学校自己評価システムシート

秀明英光高等学校

| | |
|--------|-------------------------------------|
| 目指す学校像 | 常に真理を追究し、友情を培い、広く社会に貢献する人間形成を目的とする。 |
|--------|-------------------------------------|

| | |
|------|---|
| 重点目標 | 1 父母の教育信託に応える教育を行う。 2 生徒に学習の喜びを与え、確かな学力の定着を図る。 3 生活指導の徹底。 |
|------|---|

| | | | |
|-----|---|-------|--------|
| 達成度 | A | ほぼ達成 | (8割以上) |
| | B | 概ね達成 | (6割以上) |
| | C | 変化の兆し | (4割以上) |
| | D | 不十分 | (4割未満) |

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

| 学校自己評価 | | | | | | | |
|--------|---|-----------------|--|--|--|-----------------|--|
| 年度目標 | | | | 年度評価(3月31日現在) | | | |
| 番号 | 現状と課題 | 評価項目 | 具体的方策 | 方策の評価指標 | 評価項目の達成状況 | 達成度 次年度への課題と改善策 | |
| 1 | 創立者の教育理念を理解し、魅力あふれる学校づくりに専念するため、以下の項目についてより一層徹底する必要がある。 ①千日修業の目的を理解させ、「秀明エリート」を育てる。 ②学校と家庭との「共育」「協育」を進める。 ③希望する進路が選択できるよう指導する。 | 学習指導の充実と希望進路の実現 | <ul style="list-style-type: none"> 「心の学習」の時間を設け、人間性豊かな人物教育を行う。 「茶道」「武道」を必修とし、日本の伝統と礼儀作法を学ぶ。 父母会、授業公開を行い、学習面や生活面について十分な話し合いの場を設ける。 志望大学の過去問題演習を行って、学力の伸長を図る。 面接指導、小論文指導を学校全体で行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 父母会、授業公開、三者面談の状況。 「授業アンケート」結果の改善状況。 過去問題演習への取り組みと結果。 面接指導、小論文指導の結果。 進路実績。 | <ul style="list-style-type: none"> 父母会(3回)、授業公開(1回)、三者面談(3回)を実施し、多数の参加があった。 授業公開時の「授業アンケート」を検証し、改善に努めた。 AO、推薦入試に向けて面接・小論文対策を積極的に実施した。 希望する進路が決定するように努め、上級学校への進学率は82%であった。 | A | <ul style="list-style-type: none"> 昨年以上の参加を呼びかけ学校と家庭の「共育」「協育」を促進させる。 面接・小論文対策は組織的な計画を立て、全教員で実施する。 「実力相応校」に満足せず、「目標校」「挑戦校」に合格するまで粘り強く指導する。 |
| 2 | 生徒に学習の喜びを与え、確かな学力の定着を図るために、以下の項目について更に推進する必要がある。 ①到達度に応じた教科指導力を身につける。 ②週末課題の定着とノート学習の推進。 | 授業の改善と指導力の向上 | <ul style="list-style-type: none"> 「大学入試問題正解」を購入し、指導教科の学力を身につける。 授業アンケートを実施し、改善方法を考え実行する。 研修授業は、必ずテーマを明確に行う。 毎週2回以上、他の教員の授業を見学し、その記録をとる。 | <ul style="list-style-type: none"> センター試験だけでなく「全国大学入試問題正解」の問題を掌握。 年間5回の授業アンケートを実施。 年間2回以上の研修授業を実施。 毎週、他の教員の授業を見学し、授業参観ノートを作成。 | <ul style="list-style-type: none"> 「大学入試問題正解」などを利用して指導教科の学力向上に努めた。 「授業アンケート」を5回実施し授業の改善に努めた。 研修授業を年間2回以上実施し、指導力の向上に努めた。 年間50コマ以上の授業を見学し、記録を残した。 | A | <ul style="list-style-type: none"> 次年度も「大学入試問題正解」などを利用して指導教科の学力向上に努める。 次年度も年間5回の授業アンケートを実施し、その結果をもとに授業の質を一層向上させる。 様々な教科の授業参観を行い、授業技術を向上させる。 |
| | 多くの生徒を積極的に資格試験に挑戦させ、より上位級を取得させる必要がある。 | 資格試験 | <ul style="list-style-type: none"> 英検は、放課後等を活用して指導を強化し、また過去問題演習を行って、全員を上位級に挑戦させる。 漢検は、学力を見極めた上で、多くの生徒に受験させる。 | <ul style="list-style-type: none"> 英検、漢検への取り組みと取得状況の検証。 その他の資格試験の結果。 | <ul style="list-style-type: none"> 英検では、過去問題演習を行い、99.8%の生徒が上位級に挑戦した。 漢検では、学力を見極めた上で99%以上の生徒が受験した。 | B | <ul style="list-style-type: none"> 次年度も学年全体で組織的に対策を行い、最後まで粘り強く指導し合格させる。 数学検定やパソコン検定にも、多くの生徒が受験するよう学年集会、HIRで促す。 |
| 3 | 学校生活をよりよくするための、以下の項目について徹底する必要がある。 ①基本的な生活習慣の確立。 ②5つの約束の厳守。 ③「心の学習」の充実。 ④安全管理の徹底。 | 生活指導の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 頭髪、身だしなみの指導は、学年全体で行う。 いじめは、生活アンケートや面談の実施により、防止に努める。 親や先祖に対する謝念の心を育てる。 新聞記事を使い、「善と悪」「許せることと許せないこと」の区別、正しい判断力、思考力を身につける。 各種訓練、講演会の実施。 | <ul style="list-style-type: none"> 頭髪検査は月1回、身だしなみの指導は随時実施。 生活アンケート、面談の実施状況。 「心の学習」確認テストの実施と結果。 新聞記事の活用状況。 危機管理マニュアルに基づく各種訓練の実施。 薬物乱用防止、痴漢防止等の講演会の実施。 | <ul style="list-style-type: none"> 頭髪検査は学年集会で実施、身だしなみ指導は、毎朝の登校指導から始まり、随時実施した。 「いじめゼロ宣言」を実践した。 担任との面談は週1回以上、生活アンケートは月に1回以上実施した。 「心の学習」確認テストを8回実施し、その定着を図った。 各種訓練、講演会を実施した。 | A | <ul style="list-style-type: none"> 学年集会での頭髪検査を継続し、身だしなみ同様、随時指導する。 「いじめゼロ宣言」の継続。 次年度も新聞記事を活用し、正しい判断力を身につけるようにする。 週1回以上の面談、月1回以上の生活アンケートを継続する。 定期的に講演会を実施し、正しい判断力と思考力を養う。 |

| 学校関係者評価 |
|--|
| 実施日:平成28年4月28日 |
| 学校関係者からの意見・要望・評価等 |
| <ul style="list-style-type: none"> 父母会、授業公開、三者面談を定期的に行っている。 父母の信託と期待に応える教育のために、全教職員が心一つにして努力している。 家庭との連携を取り、学校と保護者が共に育てる体制が整っている。 上位生徒だけでなく、下位生徒もきめ細かな指導をしている。 「面倒見の良い学校」、「学力を伸ばす学校」として評価できる。 「一斉メールシステム」を活用し、学校と家庭の連絡や危機管理がとれている。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 教員自身が、過去の入試問題を解き、指導教科の研鑽に励んでいることが評価できる。 年間に5回の授業アンケートが実施され、その結果に基づいて授業・指導が改善されている。 様々な教科の授業を毎週参観することは、より良い授業と指導力アップに効果的である。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 資格試験に積極的に挑戦させている。 過去問題の対策が徹底している。特に、学年全体で組織的に指導している点も評価できる。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 毎朝のあいさつ・身だしなみ指導は、学校全体で組織的に実施されており高く評価できる。 毎週の面談と毎月のアンケートにより、学習と生活上の問題の早期発見に努めてほしい。 「いじめゼロ宣言」「いじめ・暴力防止の誓い」を実践し、敏速な対応をしている。 危機管理マニュアルに基づいた各種訓練を実施している。 薬物乱用防止、サイバー対策、非行防止、痴漢防止などの講演会を随時実施し、充実している。 |